

# 沖縄県平和祈念資料館だより

## 「願う平和」から「創る平和」へ

はじめに、平成23年3月11日に発生した東日本大震災で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い被災地の復興と被災者の方々の生活再建をお祈り申し上げます。

沖縄県平和祈念資料館は、沖縄戦の歴史的教訓を後世に伝え、平和を大切に「沖縄のこころ」を発信し、世界の恒久平和に寄与するために平和博物館としての様々な取り組みを行っております。

沖縄県は、沖縄戦で唯一県民を総動員した地上戦で20数万の尊い命を奪い貴重な文化遺産を破壊した悲惨な戦争を二度と起こしてはならない、恒久平和を願って、県立としては国内初の平和祈念資料館を1975年に開館しました。以来、36年間の活動や運営を通して、平和を創造するという責務を果たすために展示活動や教育普及活動などさまざまな事業を実施してきました。

この間資料を展示するだけでなく活用し、平和教育、学習の場を提供し、また次代を担う子ども達に戦争と平和について考えてもらうために学校と連携し、「児童・生徒の平和メッセージ展」を実施し、国内外に平和のメッセージを発信しております。

また、平成21年度から新たな取り組みとして、JICA沖縄国際センターの協力を得て国際平和への貢献として、カンボジア国立ツール・スレン博物館に当館がこれまで培ってきたノウハウを提供していく「沖縄・カンボジア「平和博物館」協力事業」（3カ年計画）など行っており、平和交流・発信拠点としての役割も果たしてきています。

当館には沖縄戦の実相を展示し、次代へ伝えるだけでなく、沖縄の視座から平和創造に向けた取り組みを国内外に発信する平和博物館としての役割が、当館にも求められていると考えております。

沖縄戦の実相を伝える常設展示資料を見て戦争の悲惨さと恐ろしさを感じ、今の生きている生活に平和を感じているだけでなく、そこからさらに行動し、平和を創り出していくにはどう関わっていけばいいのか。日常の生活においてどう平和について考えていけばいいのか。

平和な世界を創るために私たちにできることは何なのかを考える場として活用していただけるよう、県民視点の管理運営に努めてまいりたいと考えております。

沖縄県平和祈念資料館 館長 呉屋 禮子

## 第21回 「児童・生徒の平和メッセージ」

### — 図画部門最優秀賞作品 —



小学校低学年の部  
浦添市立仲西小学校1年 奥間マリア



特別支援学校・学級の部  
浦添市立沢尻小学校6年 佐久川愛梨



小学校高学年の部  
南城市立百名小学校4年 崎間恒次郎



中学校の部  
南風原町立南風原中学校3年 金城佳奈



高校の部  
県立開邦高校3年 喜屋武沙枝

## 企画展 新収藏品展—平成22年度新収蔵資料—を終えて

新収藏品展は、前年度の1年間で寄贈していただいた資料を、広く一般公開するとともに、資料を寄贈された皆様への感謝の意を表すために開催しています。今回の新収藏品展では「陶磁器製手榴弾」や「水筒」、「米軍兵が使用していたナイフ」や「写真」など沖縄戦の実相を知る上で大切な約90点の資料を展示しました。戦後66年をむかえ、戦争体験者が年々少なくなる中で、戦争を知らない多くの戦後世代へ、悲惨な戦争の教訓を語り継いでいくためには、これらの資料が果たす役割が大変大きいといえます。

6月14日(火)から7月31日(日)にかけて開催した

ところ、県内外の多くの方がご覧いただきました。寄贈者の皆様方に改めて感謝申し上げます。



## 平成23年度事業

### 第1回 子ども・プロセス企画展「子どもたちと沖縄戦—廃墟からの復興—」

沖縄戦に関する子ども向けの企画展として、平成23年度第1回子ども・プロセス企画展「子どもたちと沖縄戦—廃墟からの復興—」を6月10日～7月11日に開催しました。今回は、家族を失った子どもたちや傷ついた子どもたちに焦点をあて、また、廃墟となった沖縄がどのように復興したのかについても展示しました。

沖縄戦から終戦直後の苦難の中で生きる子どもの

様子を展示することで、来館した小中学生に関心を持ってもらい、戦争と平和についてより深く考える機会となることをねらいとしました。

平和メッセージコーナーでは、子どもたちの平和への願いを短冊に書いてもらい掲示できるようにしました。子どもたちの素直な平和への願いは、当館で働く職員にも励みとなりました。



## 第21回児童・生徒の平和メッセージ展報告

### (1) 趣旨・展示内容

今回で、21回目の開催を迎える「児童・生徒の平和メッセージ展」は当館の主要事業のひとつで、県内の小、中学校、高等学校、及び特別支援学校の児童・生徒に、日常生活の中で「平和の心や意識」を育み、県内をはじめ、国内外に平和のメッセージを発信するため、沖縄県教育委員会との共催で実施しています。

今年は県内の166校から、過去最高となる4,951点の作品の応募がありました。これら多くの作品の中から、見事に入選した優秀作品100点を当館の展示会を皮切りに、八重山平和祈念館、名護博物館、うるま市立石川

歴史民俗資料館、県庁・県民ホールとの5会場で巡回展示いたしました。

図画・作文・詩のいずれの作品も、児童・生徒のみならずの平和への純粋な願いが込められており、「やさしさ」、「たくましさ」、「みずみずしい感性」にあふれた作品の数々は、子どもから大人まで展示会に来られた多くの方々の心に強い感動と感銘を与えていました。

### (2) 開催場所・期間

- 沖縄県平和祈念資料館 6月23日(木)～7月6日(水)
- 八重山平和祈念館 7月13日(水)～7月21日(木)
- 名護博物館 7月27日(水)～7月31日(日)
- うるま市立石川歴史民俗資料館 8月2日(火)～8月7日(日)
- 県庁1階(県民ホール) 8月15日(月)～8月19日(金)



メッセージ展のテープカット

## ピースメモリアルグッズ(PMG)開発事業

平成22年度より2カ年計画で開始された、ピースメモリアルグッズ(PMG)開発事業も今年度が最終年度となり、オリジナルグッズ商品化に向けて精力的な活動が続けられています。

昨年度、製作担当者5名による第1弾の試作商品が開発され、今年の3月14日～5月14日にかけて成果発表会を行い、アンケート調査や来館したお客様からのご意見を元に商品のさらなる品質向上にフィードバックすることができました。また、6月23日の慰霊の日には、これまでに開発したグッズを一日限定でテスト販売を行い、来館者の商品に対する反応や、実際の価格設定に関しての来館者の意見等を聞くことができました。当日は予定していた販売数よりも多くの数量が購入され、担当者としてもほっと胸をなでおろす結果となりました。この調査を今後の商品開発へつなげていきたいと思えます。

今後も第2弾、第3弾と商品が試作品として製作されており、沖縄県平和祈念資料館のオリジナルグッズとして、県内外の来館者に認められるような商品の開発に努めてまいりますので当館とPMG担当者共々、皆様

にお楽しみにしていただきたいと思います。

第1弾の商品に関しては、当館HPでご覧いただけますので、是非ご覧ください。



テスト販売の様子(6月23日)

## 第21回 「児童・生徒の平和メッセージ」入選者一覧(優良賞以上)

### ■ 図画の部入選者

### ■ 作文の部入選者

### ■ 詩の部入選者

小学校(低)の部(3名)			小学校(低)の部(3名)			小学校(低)の部(3名)		
最優秀賞	奥 間 マリア	(仲西小1年)	最優秀賞	小 原 菜々美	(光洋小3年)	最優秀賞	比 嘉 琉 愛	(北玉小3年)
優 秀 賞	又 吉 優 菜	(白保小2年)	優 秀 賞	宜 保 美 海	(上田小3年)	優 秀 賞	山 城 日 菜	(白保小1年)
優 良 賞	新 里 守 礼	(高麗武小3年)	優 良 賞	海 元 芙 美 佳	(上田小3年)	優 良 賞	志 良 堂 虹 心	(光洋小3年)
小学校(高)の部(8名)			小学校(高)の部(10名)			小学校(高)の部(8名)		
最優秀賞	崎 間 恒 次 郎	(百名小4年)	最優秀賞	宮 川 司 おん	(兼城小6年)	最優秀賞	我 如 古 友 香	(白川小6年)
優 秀 賞	宮 平 柚 希	(座間味小5年)	優 秀 賞	長 濱 沙 紀	(関南小5年)	優 秀 賞	兼 堅 菜 乃 花	(田場小4年)
	安 里 綾 夏	(高嶺小6年)		青 崎 佑 希 乃	(伊良波小6年)		比 嘉 み る	(坂田小6年)
優 良 賞	川 奈 誠	(大本小4年)	優 良 賞	玉 城 充 己	(大里北小5年)	優 良 賞	國 吉 優 利	(高嶺小6年)
	城 間 葉 澄	(大里北小5年)		高 根 海 月	(神森小5年)		鳥 越 流 幸	(真地小6年)
	新 垣 巴 菜	(神森小6年)		松 原 優 衣	(神森小5年)		松 納 幸 美	(松原小6年)
	仲 座 希 咲	(知念小6年)		比 嘉 綾 音	(大山小6年)		前 堂 寛 登	(とよみ小6年)
	惣 慶 玲 花	(高嶺小6年)		佐 久 間 美 緒	(大山小6年)		新 城 結 奈	(菓国小6年)
中学校の部(11名)			中学校の部(10名)			中学校の部(8名)		
最優秀賞	金 城 佳 奈	(南風原中3年)	最優秀賞	新 城 大 地	(石垣中3年)	最優秀賞	嘉 味 田 朝 香	(仲西中2年)
優 秀 賞	有 田 裕 美	(西崎中2年)	優 秀 賞	平 良 匠	(松島中2年)	優 秀 賞	照 屋 希 之 薫	(潮平中1年)
	丸 山 咲	(川平中3年)		野 原 由 梨 奈	(仲瀬商中3年)		田 村 柊 斗	(西原東中1年)
優 良 賞	親 田 泉	(浦添中2年)	優 良 賞	上 原 晴 美	(仲瀬商中1年)	優 良 賞	上 原 山 莉 子	(慶留四中2年)
	喜 納 梨 巨	(西崎中2年)		金 城 彩 映	(小禄中2年)		波 木 千 紘	(潮平中2年)
	大 城 葵	(南風原中3年)		稲 嶺 隆 祉	(小禄中2年)		糸 数 美 那 海	(仲西中2年)
	大 城 綾 香	(南風原中3年)		宮 城 未 来	(佐敷中2年)		照 屋 翔 太	(知念中3年)
	座 波 美 菜 子	(石嶺中3年)		池 間 夢 華	(久松中3年)		大 城 恰 南	(潮平中3年)
	栗 岡 紗 菜	(与那原中3年)		島 袋 紋 音	(久辺中3年)			
	浦 山 青 空	(川平中3年)		屋 宜 彩 音	(仲瀬商中3年)			
	村 吉 良 太	(北中城中3年)						
高等学校の部(10名)			高等学校の部(10名)			高等学校の部(10名)		
最優秀賞	宮 屋 武 沙 枝	(関邦高3年)	最優秀賞	糸 数 昌 朝	(糸満高3年)	最優秀賞	照 喜 名 流 風	(向陽高3年)
優 秀 賞	喜 合 場 愛 月	(那覇国際高2年)	優 秀 賞	井 上 桃 伽	(関邦高1年)	優 秀 賞	知 念 綾 香	(首里高3年)
	濱 口 南 子	(首里高3年)		喜 屋 武 咲 子	(関邦高3年)		比 嘉 万 紀 子	(首里高3年)
優 良 賞	新 垣 美 郷	(宜野座高2年)	優 良 賞	柏 木 れ み	(糸満高1年)	優 良 賞	伊 波 宏 哉	(前原高1年)
	波 平 裕 身 乃	(関邦高2年)		渡 具 知 巳 尋	(仲瀬商高2年)		嘉 納 佳 子	(球磨高1年)
	仲 宗 根 凜	(関邦高2年)		西 路 秀 夏	(関邦高2年)		大 城 さ ゆ り	(関邦高2年)
	嘉 納 さ や か	(関邦高3年)		大 山 佑 佳	(関邦高2年)		仲 瀬 保 磨	(前原高3年)
	新 垣 盛 達	(浦添高3年)		喜 瀬 菜 都 美	(那覇商業高3年)		渡 慶 次 結	(北中城高3年)
	大 城 彩 華	(首里高3年)		比 嘉 ま な 美	(那覇商業高3年)		宮 良 一 輝	(北中城高3年)
	箭 長 瞳	(首里高3年)		登 川 工 里	(那覇商業高3年)		砂 川 景 史 郎	(前原高3年)
特別支援の部(3名)			特別支援の部(2名)			特別支援の部(3名)		
最優秀賞	佐 久 川 愛 梨	(沢崎小6年)	優 秀 賞	仲 里 憲 士 朗	(石田中2年)	最優秀賞	豊 里 凜	(北玉小3年)
優 秀 賞	山 内 裕 介	(石田中3年)		宮 城 梨 沙	(名護特支中3)	優 良 賞	城 間 恵	(神縄首高3年)
優 良 賞	新 垣 恰 奈	(宮里中3年)					上 間 隆 輝	(名護特支1年)

## 沖縄県平和祈念資料館第12回特別企画展

# 「アメリカ世(ユー)の沖縄」

遅しくしたたかに生きてきたウチナーンチュ

1. 期 間 平成23年10月10日(月)～12月11日(日) 沖縄県平和祈念資料館  
平成24年1月19日(木)～2月26日(日) 八重山平和祈念館

2. 場 所 沖縄県平和祈念資料館 企画展示室  
八重山平和祈念館 第2展示室

### 3. 趣 旨

甚大な犠牲を払った沖縄戦。廃墟からの再出発。そして27年間のアメリカの統治を経て1972年に復帰をとげた沖縄。今回の特別展では、戦後から復帰までの時代、アメリカがどのようなねらいで占領政策をおこなってきたのか、住民は生きること絶望的になりそうなかから、お互いに励ましあいながら平和を求め遅しくそしてしたたかに力強く米国統治下を生き抜いてきた。

その住民のグアイタリティーについての考察を通し、平和を考える特別企画展にしたいと考えています。

### 4. 展示内容(予定)

#### (1) 展示構成

展示は3室から成り立ち、第1室では米国軍政府の占領政策のねらいとそれを通して行われてきた主な政策をとりあげていきます。第2室では軍政府直轄で比較的住民が利用した琉米文化会館での活動の様子を具体的に考察していきながらその果たしてきた役割をみていきます。第3室では、占領下の中で影響を受けながら生まれた文化や、既存の文化と混ざり合って沖縄独自の文化、チャンプルー文化ができてきたことを紹介します。また、ウチナーンチュは、戦後初期、占領政策に従順に従う弱くおとなしい存在から「絶対に受け入れることはできない」とはっきり言うような立場にかわっていきました。その50年代の軍用地闘争の抵抗のエネルギー、そして60年代の復帰運動の高まりと1972年の復帰を実現するまでの平和を求めて生きてきたウチナーの様子を振り返る構成となっています。

#### I 部 占領下の沖縄

- ・アメリカユーのはじまり
- ・二つの文書
- ・占領下の諸政策

#### II 部 琉米文化会館のもたらしたもの

- ・図書館サービス
- ・琉米親善活動
- ・広報活動

#### III 部 アメリカユーの中で遅しくしたたかに 生きて沖縄の人々

- ・アメリカユーの中で発展・生まれた文化
- ・平和を求めて



## 第5回千羽鶴引渡し式～祈る平和から創る平和へ～

当館には県内外の児童生徒、一般の方々より平和への祈りをこめて折られた千羽鶴が、毎年約100万羽奉納されます。これらの千羽鶴は広島市のNPO法人千羽鶴未来プロジェクトを通し、再生紙やノートにリサイクルされ、アフガニスタンやルワンダなど戦争被災国の恵まれない子どもたちに届けられています。

今年もその引渡し式および解体・仕分け作業が6月11日（土曜日）に当資料館大会議室で行われ、県内ボランティア団体、障がい者団体、県婦人連合会、中小高校生やその保護者など約250名が参加しました。また、同プロジェクト顧問で元沖縄県知事稲嶺恵一様も、開

会式でのあいさつの後、子どもたちと一緒に、終了するまで仕分け・解体作業に汗を流していました。

当資料館では、随時千羽鶴を受け入れております。受け入れた千羽鶴は、子ども・プロセス展示室入り口に展示しております。



千羽鶴再生3点セット  
当館ミュージアムショップで販売中



引渡し式の様子



当館に献納された千羽鶴



一生懸命に仕分けする子ども達

## 友の会活動状況

1. 沖縄県平和祈念資料館友の会（平成17年設立）では、資料館と連携しながら学習会やフィールドワークを自主的に行うとともに、以下のような活動を行っています。

- (1) 地域（県全域）および学校における平和学習支援
- (2) 県外からの平和学習団体への講話・ガイド
- (3) 沖縄県平和祈念資料館常設展示室での解説

2. 活動状況（平成23年4月から7月8日現在）

(1) 平和講話・ガイド実績

団体	実施件数	実施人数	派遣講師
高等学校	7件	4,376名	7名
中学校	19件	4,089名	19名
小学校	9件	3,412名	11名
その他	8件	674名	8名
合計	43件	12,657名	45名

県内学校：小学校7校、中学校5校、高校5校

県外学校：小学校2校、中学校14校、高校2校、その他8件

(2) 常設展示室解説委員 配置実績34人 平成23年4月～7月8日

(3) 平和祈念堂清明祭への協力4月9日（土）

(4) 平成23年度 友の会総会 5月7日（土）

(5) 研修会フィールドワーク

・5月7日（土）研修地：糸洲の壕 講師：大城藤六氏

・7月2日（土）研修地：中城、西原、浦添の戦争遺跡 講師：仲村真氏



平成23年度総会



研修会5月7日



研修会5月7日

# 八重山平和祈念館 平成23年度 事業実施報告

## (1) 八重山平和祈念館企画展「後世へ語り継ぐ平和への証言」展

●期間：平成23年6月1日(水)～7月3日(日)

八重山地域で戦争を体験された方々の証言を、写真やDVD、実物資料と共に展示し、戦争を身近なものとして感じていただくことで、慰籍と慰霊の心を育み、戦争の悲惨さと平和の尊さについてみつめなおす機会とすることを目的として、本企画展を開催いたしました。

開催期間中、平和学習の学校を中心に、約1,100名の観覧がありました。児童・生徒から、「マリアでなくなった人がほんとうに、かわいそうだと思います。」「戦争時代のことをたくさん知ることができました。」「せ

んそうの時は、バクダンを落とされ、病気のかもいました。それでもおばあちゃん達はがんばっていたなんて知りませんでした。」との感想があり、また、「戦争を体験された方が年月とともに少なくなる中で、記録という形で未来永劫私達に戦争の実相を伝えていただけるのは、本当に貴重なことであり、その思いを真摯に受けとめなければならないと思います。」などたくさん感想をいただきました。

## (2) 「児童・生徒の平和メッセージ」展 八重山会場

●期間：平成23年7月13日(水)～7月21日(木)

八重山会場では、八重山地区の入選作品13点(図画9点、作文2点、詩2点)を含む67点の作品を展示しました。

開会式典では、八重山地区の入選者8名が出席し、中学校作文の部で最優秀賞に輝いた新城大地君(石垣中学校3年)による作品朗読や、代表生徒等によるテープカットを行いました。児童・生徒やご家族など、たくさんの方々にご参加いただき、入選児童・生徒を

激励しました。

会場には八重山地域の児童・生徒の入選作品を集めたコーナーを設置し、他の会場では展示されない、佳作の作品についても展示を行いました。

期間中入賞者のご家族や親戚の方なども多数訪れ、子どもたちの平和への願いが込められた作品をじっくりと見入っている様子でした。



八重山会場オープニング



作品を見学する児童・生徒

### 連絡先

住 所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町79番地の3

TEL/FAX：0980-88-6161

URL：http://www.pref.okinawa.jp/yaeyama-peace-museum/

E-mail：yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp

## 幸せの一枚

浦添市立仲西中学校 2年 嘉味田 朝香



私の祖母が持つ一枚の写真  
百年も経つけれど  
忘れられない笑顔  
忘れられない言葉

小学生の頃  
先生がだした宿題  
家族から戦争の話の聞いてくること  
ないで済んだ  
祖母の家

祖母は毎晩おぼけ  
顔の笑顔を  
一枚の写真  
取っ出した

おぼけの顔の中から  
子どもたち  
顔面の笑顔の女の子  
嬉しそうに笑った子  
おぼけのそばにはお父さん  
微笑に口をおいた笑顔  
たくさん笑顔  
一人一人の目は  
語る見つけ  
キョキョキ輝いている

「この人だわわ」  
真ん中から女性を指さし  
祖母に尋ねる

祖母は寂しそうに笑い  
「わたし」  
一言だけ答えた

一人一人の顔を  
交わし合うに  
後かきつらに  
指でなぞる「おぼけ」  
眺めながら  
時が経ちます

「この子たちです」  
おぼけは祖母に話せる事  
おぼけの笑顔のとおぼけの  
おぼけの笑顔のとおぼけの  
おぼけの笑顔のとおぼけの

祖母は答えみかねた  
手をとったままだった  
おぼけにも  
祖母の笑い声  
涙いしみが  
ないほどなつた

長い沈黙のあと  
祖母は  
「どうして戦争なんがするのかわねー」  
「戦争でええながら  
みんな幸せだったのに…」

私はもう一度写真を見た  
みんな笑っている  
幸せそうに笑っている  
交する家族がいたはずだ  
たくさんのおぼけがあったはずだ  
大人になるその日を夢見ていたはずだ  
その笑顔も 幸せも  
奪った戦争も  
私は許さない  
絶対に許せない

祖母はもう話さない  
私はおぼけを  
おぼけの顔を見てはいい  
祖母の笑顔は一枚の写真  
おぼけに 笑った祖母の思い  
おぼけの顔も経つけれど  
忘れぬ  
私はずっと忘れぬ

私たちが忘れないように  
平和はいつか  
だからこそ  
忘れてはいけない

この地には  
たくさん笑顔が  
たくさんのおぼけが  
たくさんのおぼけが  
眠っていること

## 慰霊の日の平和祈念資料館

6月23日(火) 慰霊の日には、沖縄県主催の沖縄全戦没者追悼式が行われました。毎年この日は常設展示室の観覧を無料にし、閉館を午後6時まで延長しています。毎年この日は一年で最も入館者数も多く、梅雨明けし、暑い日差しが照りつけた今年は3,665人の観覧者が展示室に入りました。館内では「児童生徒の平和メッセージ展」「新収蔵品展」「プロセス展示展」その他さまざまなイベントが開かれ、平和への願いを新たにするとともにしました。



### 資料のご提供について

戦後66年をむかえ、戦争を知らない多くの戦後世代へ、二度とおこしてはならない戦争の教訓を語り継いでいかなければなりません。そのためには、戦前、戦中、戦後の資料等が重要な役割を果たしていくこととなります。このような資料をお持ちの方、ぜひご寄贈ください。よう、ご協力お願いいたします。詳しくは、沖縄県平和祈念資料館までお問い合わせください。

### 資料の貸出について

当資料館では、「沖縄戦体験者証言ビデオ」、「沖縄戦写真パネル」、「沖縄戦の絵」、砲弾の破片や「ヘルメット、手榴弾など」[実物資料]、「平和キョット」の貸し出しを行っており、県外市町村からの申請も毎年増えております。平和学習の補助教材として、県内学校からの申し込みもお待ちしております。

### 県内学校向け平和講話について

沖縄戦の歴史的教育を次の世代に正しく伝え、平和のために今自分ができることを考えるきっかけとなるよう、県内の小中学校、特別支援学校に対する「平和講話」を希望する学校に実施しております。平和学習等で常設展示室を見学に来る学校の児童生徒に対して戦前に行うオンラインセッションの講話は、時間は45分～60分です。内容は沖縄戦に至るまでの歴史の流れや沖縄戦の特徴、平和展示の見学などです。4月から講話の日に合わせて予約が組み合いますので、早めの予約をお願いします。

### 編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所 〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁164番地の1  
URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947  
E-MAIL [webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp](mailto:webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp)